

18.術中迅速病理組織診断件数

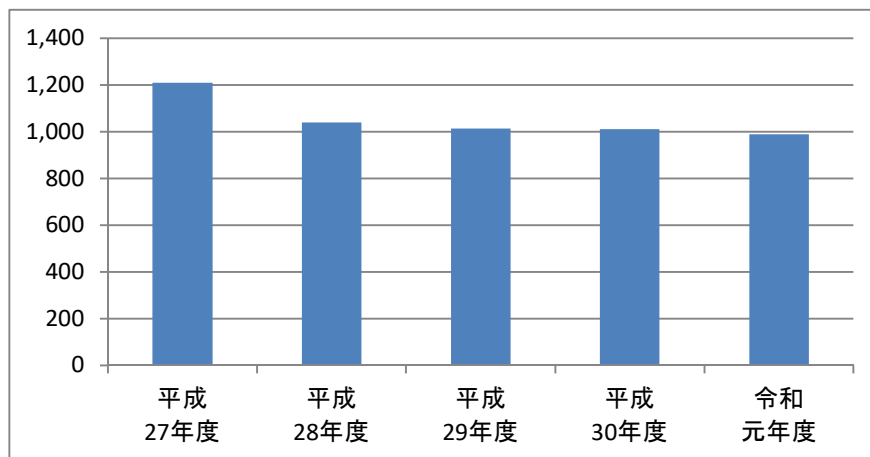
項目の解説

正確で迅速な病理診断は、時として手術中に必要となることがあり、それに基づいて病巣切除の適否または切除範囲が決められます。そのためには、限られた時間内に切除された標本を処理し、迅速かつ正確な診断のできる熟練病理医と設備が病院内に必要になります。件数が増加するほどこれらの機能が充実していることを表現しています。

当院では、非常に多数例の術中迅速診断が行われ、適切な外科手術に貢献しています。

当院の実績

平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
1,209	1,040	1,015	1,011	989 (件)



定義

医科診療報酬点数表における、「N003 術中迅速病理組織標本作製(T-M/O P)、N003-2術中迅速細胞診」の算定件数です。



九州大学病院

KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL